

2020年 第4号 ご挨拶

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた世界経済は、疫病リスクと経済的リスクコントロールのバランスに苦慮しています。社会的孤立、企業の淘汰、大規模な金融支援策など、前代未聞の対応が世界規模で実施されています。また、サプライチェーンにも大きな影響を与えており、特に自動車、電子機器、機械・装置などの産業は、グローバルなサプライチェーンへの依存度が高く回復に時間がかかると予想されます。中国は現在、ほぼコントロールされた状況にあり、景気回復のための基礎を築いています。政府は、仕事や生産の再開を秩序ある形で推進するとともに、中小企業を対象とした多面的な政策を導入し、コストや債務負担の軽減を図っています。

今年是中国の対外投資法施行元年でもあり、中国のビジネス環境がさらに改善され、対外開放が拡大する中で、中国は今後も重要な対外投資先の一つであり続けることが期待されています。特に最近では、5G、人工知能、データセンター、産業用インターネットなどに代表される「新インフラ」が広く注目されています。新型コロナ以降、社会全体が生産や生活のデジタル化をより深く考えるようになったことで、新たなインフラ構築の市場需要が高まっています。人類が生活圏の拡大を続ける限り、近い将来新たな疫病との闘いが続くことでしょう。デジタル化・知能化の更なる推進が伝統産業継承のための情報インフラとして発展するでしょう。そして、この「新インフラ」は、様々な産業の革新的な発展力を牽引していくことになるでしょう。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 中国の主要な自動車テクノロジー企業 50 社（2019 年）

第 3 回 KPMG 中国自動車テクノロジー大手 50 社リストが発表されました。今年のリストは、過去 1 年間の調査をもとに、インテリジェントインターネット接続、アフターマーケットサービス、旅行方法、自動車製造などの分野において、テクノロジー企業に引き続き注目しており、自動車業界の動向の発展に期待しています。世界的な新型コロナウイルス感染拡大を背景に、自動車業界への下押し圧力がより顕著になり、自動車市場への期待感はさらに調整されていくこととなりますが、私たちは自動車市場が一日も早く正しい軌道に戻り、新たな状況を切り開くことを期待しています。

- > [全文はこちら](#)（英語）
- > [全文はこちら](#)（中国語）

2. レジリエントなサプライチェーンの構築

サプライチェーンは、ここ数十年でグローバル化と複雑化が進んでおり、この効率性の向上により、現在世界が享受している手ごろな価格の製品やサービスを豊富に生み出す上で、重要な役割を果たしてきました。

しかし、COVID-19 の危機があまりにもはっきりと浮き彫りにしたように、効率を最大限に高めるために調整された運用モデルは、外部からの混乱に非常に敏感であることが判明しています。グローバルなサプライチェーンの複雑さは、予期せぬ事態の発生を招き、意図しない結果を次々と引き起こし、その中には多くのサプライチェーンの急速な崩壊も含まれています。このような敏捷性と回復力の欠如は、企業のみならず社会全体に大きなリスクをもたらしています。KPMG では、運用モデルの効率性とサプライチェーンの回復力の間の適切な均衡は、高度なデータと分析を活用したモデルを使用することにより、最適解が導き出されると考えています。

> [全文はこちら](#) (英語)

3. 新型コロナウイルスと内部監査のリーダーに求められる役割

ここ数ヶ月の間の COVID-19 の大流行は、中国本土と香港の企業に業務停止、サプライチェーンの混乱、キャッシュフローの圧迫など、重大な影響を与えています。国・地域や業界を問わず、組織への短期的・長期的な影響については、多くの問いに対する回答が用意できていない状況です。現在の状況とコロナウイルス危機が、貴社のビジネスと社員に与える影響を、全体的かつ協力的な方法で評価することが非常に重要です。短期的には、責任を持って業務を管理し、組織全体やチームにとって最善のこを続けていくことが重要です。これは、ウイルスの脅威が広がり、企業が危機対応計画を発動するにつれ、より困難になってきています。貴社の社員は、それぞれの専門的、個人的な経験や状況に基づいて、さまざまな葛藤や緊張感、見通しを持つことになるでしょう。本稿では、内部監査のリーダーが監査計画を実行し、どのように作業を行うか、チームを管理する際に考慮すべき点など、実践的な検討事項を解説しています。

> [全文はこちら](#) (英語)

> [全文はこちら](#) (中国語)

4. 車載半導体：新たな ICE の時代

電動化、自動運転、コネクティビティ、MaaS という 4 つのトレンドは、半導体業界にも影響を及ぼします。電動化と自動運転は半導体需要の成長を支える最大の要因となり、同時に EV 充電所やインフラセンサーなどの自動車関連設備も半導体需要を増加させると考えられています。さらに ADAS (先進運転支援システム)、インフォテインメント & テレマティクスおよび電動パワートレインの利用にけん引される成長は、今後数十年間で自動車における半導体部品の構成割合が変化し、これらに利用されるチップが車載半導体市場に占める割合が 2019 年の 45% から、2040 年には 80% になる可能性を示しています。

ただし自動車市場は、家電などのほかの大規模な市場とは異なり、半導体部品を利用する量が少なく、開発サイクルが長いという特徴があり、収益を増やしたい半導体企業はより柔軟に対応する必要があります。さらに先進的な車両におけるハードウェアとソフトウェアの最適な統合が複雑であること、未来の自動車とそれをサポートするために必要とされるインフラのターゲットが今なお移り変わっていることなどの課題があります。半導体企業のマネジメントはいつどこに投資するかを決める際、その複雑さに直面するでしょう。

> [全文はこちら](#) (日本語)

<ご参考> 新型コロナウイルス対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫”（中国語） [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights（英語） [資料はこちら](#)
- 事業継続に関するインサイト（日本語） [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語）